

関西ティーイーケイ(株)環境報告書 2002

ごあいさつ

ご案内のように、当社は東レエンジニアリング株式会社の関西における関係会社で、東レ株式会社及び東レエンジニアリング株式会社で培ってきた技術・技能をさらに高めた機械・電気・計装関係の技術・技能集団です。それをもって幅広い顧客ニーズに応え続けています。東レグループの一員である当社の従業員の大半は、東レ滋賀事業場内に勤務しているところから、環境保全・改善活動についても東レ滋賀事業場の進める活動に同一歩調で取り組んでいます。

ここに示した種々のデータは、東レ滋賀に報告しているそのものです。我々関西ティーイーケイ株式会社は東レグループの一員として大津市と結んだ環境保全協定の実施に向け、今後ともたゆまない努力を続ける事をお約束致します。

関西ティーイーケイ株式会社
社長

環境方針

【環境理念】

安全・防災・環境保全・衛生・健康・倫理を事業活動の最優先課題として、社会と社員の安全と健康および資源を守り地球環境保全に努めます。

【環境保全方針】

1. 大津市環境基本計画に基づき、共生、循環、健康、快適、協働の基本目標を達成すべく、環境保全活動方針・計画を明確にし、環境の維持・保全に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、自主的に保全・改善活動に取り組めます。
3. 水質汚濁物質の流出防止および大気汚染物質の排出防止を徹底します。
4. 廃棄物の削減、リサイクル化の促進、省エネルギーへの取り組み等環境負荷の低減に努力します。
5. 臭気・振動・騒音等を防止し、地域環境を守ります。
6. 上記項目の実現のため、環境目的および目標を設定し、かつ、全従業員が事業者・市民としての責任と役割を自覚し、共通の目標を達成するために継続的な活動を推進いたします。

2001年2月26日制定

会社概要

社名：関西ティーイーケイ株式会社
 設立：昭和48年9月
 資本金：80百万円
 本社：〒520-0832
 滋賀県大津市粟津町1番24号
 TEL 077-534-0956
 FAX 077-534-4693
 株主：東レエンジニアリング株式会社
 東洋電機株式会社
 代表者：代表取締役社長 稲岡紘一
 許可業種：
 特定建設業 特-12第18627号
 機械器具設置工事業・管工事業・
 電気工事業

事業内容

設備維持・保全：機械、電気・計測設備の維持、保全
 各種設備の更新、修繕工事
 機器設計、製作：繊維機械、産業機械、乾燥機、コーター
 設備、セラミックス加工、複合材加工
 コンポジット
 制御盤設計、製作：制御盤の設計、製作、調整、保守
 制御システム設計、調整、電子機器組立
 総合エンジニアリング
 ：機械、電気、計測、土木、建築
 プラントの設計、施工、監理
 新規展開事業分野
 物流合理化機器 環境保全設備 制御システム装置
 高分子関連設備（繊維・フィルム・プラスチック）
 化学・食品トイレットリー・他プラント

H14年度 環境保全活動

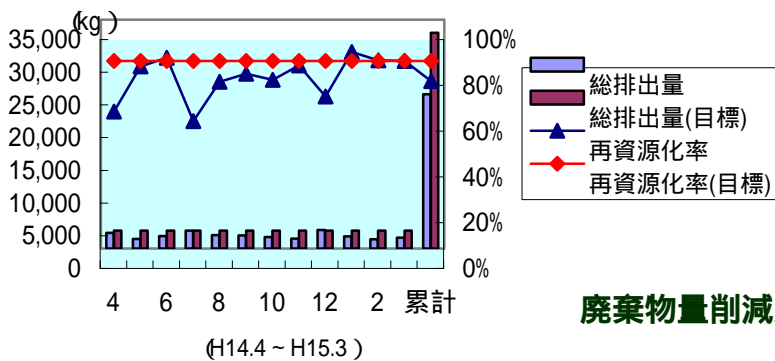
・ H14年度 関西TEK環境マネジメントプログラム

環境目的	環境目標	達成基準 (達成度)	方針・施策 (手段・方法)	スケジュール									達成予定 年月				
				上期					下期								
				4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	
1. 廃棄物の削減	1) 総排出量は、 H13年度実績より更に削減 2) 再資源化の推進 3) 紙リサイクル率は、 H13年度実績より更に向上	33t / 年以下 (H13年度実績 34.5t / 年) 総排出量の82% (H13年度実績 80%) 年度末82%以上 (H13年度末 実績79%)	A. 削減計画のフォローアップ B. ゴミ分別の再徹底および ハートフルの実施と指導 C. リサイクルや有効活用の検討 a) 油付きウエスのリサイクル化 b) 木屑の排出形状の検討 c) コントラ廃棄ゴミ(埋立ゴミ) のリサイクル化 d) 秘書類の回収日PR e) シュレッダ-の利用削減 注) a), b), c) はTEK に協力	→	→												H15-3
2. 省エネルギーの推進	1) 総用役費用を 前年比3%削減	電力・水・蒸気 の消費金額の削減	A. 昼休み時間の消灯 B. 不要時のOA機器のOFF化 C. 冷暖房の管理強化 D. 各電気機器の必要性チェック E. 屋内蛍光灯・水銀灯の 抜取り F. 社有自動車のガソリン節約 G. 水道利用の削減				→	→							→		H15-3
3. 環境苦情件数の削減	1) 環境に関する 苦情件数のゼロ化	重大トラブル0件 軽度トラブル0件	A. 指導・教育の強化継続													→	H15-3

・ H14年度環境保全活動結果

1. 廃棄物の削減

(1) 総排出量と再資源化の推進



目標達成のために、

- a. H14年度削減計画のPR
- b. 総ゴミ量と処理費用・単価のPR
- c. 新たなりサイクルや有効活用の検討

・油付きウエスのリサイクル化を更に進める
・木くずの排出形状の検討の推進

廃棄物量削減大幅に目標達成 目標 33t/年
実績 24t/年

再資源化率目標達成出来ず 目標 82%
実績 78%

- 内訳 -

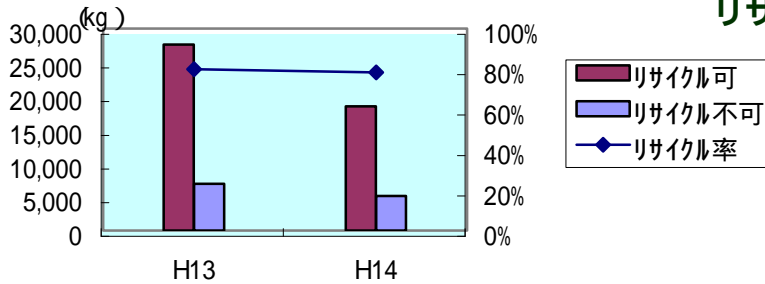
総排出量

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H13	27,610	6,925	80%	34,535
H14	18,461	5,121	78%	23,582
削減量	9,149	1,804		10,953

(kg)

再資源化廃棄物量の大幅削減
再資源化不可廃棄物量の削減量小幅

リサイクル率目標 82% 達成出来ず



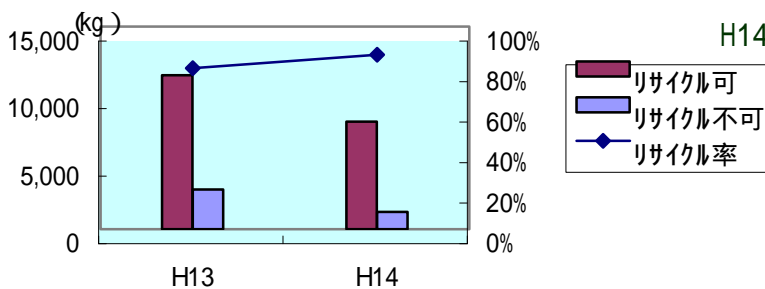
紙

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H13	11,407	2,948	79%	14,355
H14	7,967	1,285	86%	9,252
削減量	3,441	1,663		5,104

(kg)

リサイクル率目標 82% 達成のために、

- a. シュレッダー屑のリサイクル
- b. 分別パトロールの強化

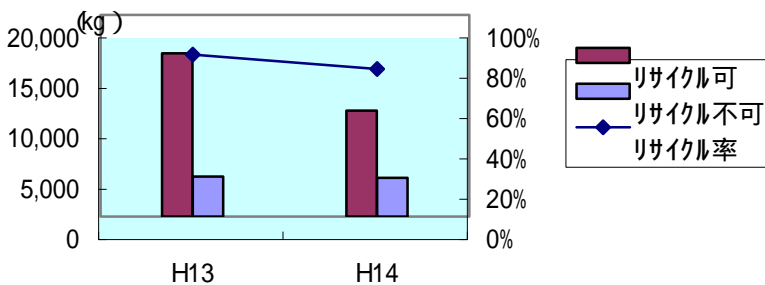


H14年 紙リサイクル率目標 82%
目標達成

紙以外の廃棄物

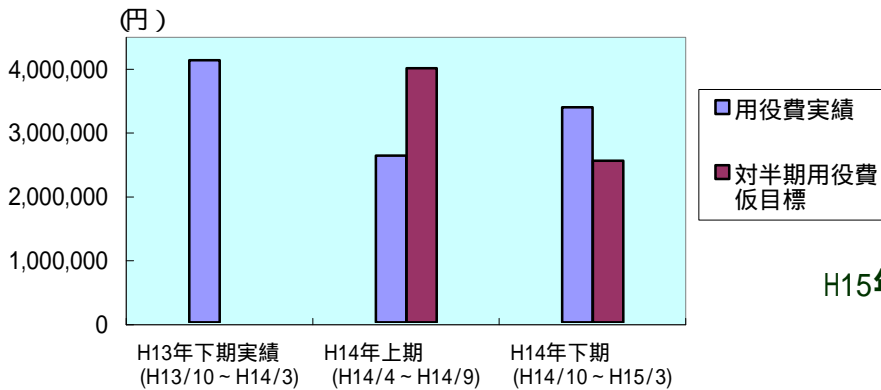
	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H13	16,203	3,977	80%	20,180
H14	10,495	3,836	73%	14,331
削減量	5,708	141		5,849

(kg)



2. 省エネルギーの推進

(1) 用役費用

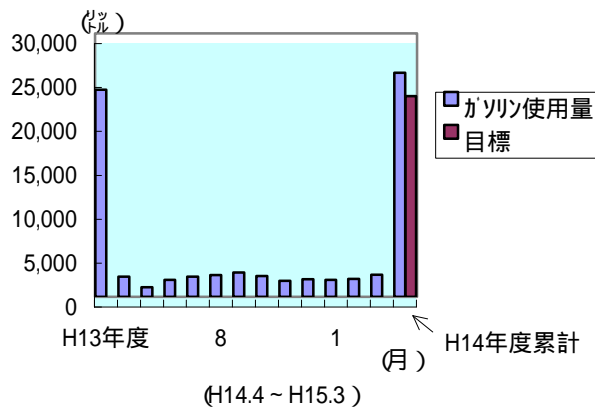


目標達成のために、

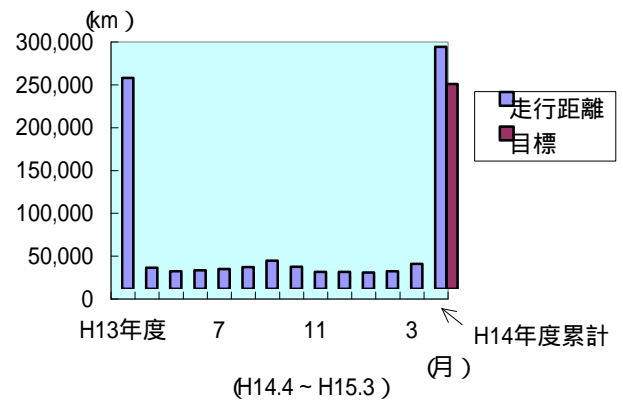
- a. 自主管理で実施
- b. 室温設定の遵守とこまめな管理
冷房温度：26
暖房温度：18
- c. 不要時のS/W OFF化を更に推進
- d. 照度確認の上抜取り実施
- e. 公的交通手段の利用
- f. 節水器具取り付け

H15年度年間消費量に対し目標設定する
(1年間のベンチマーク取り完了)

(2) ガソリン使用量



(3) 走行距離



目標オーバー：営業強化に伴う走行距離UP
及び遠距離工事の受注

3. 環境苦情件数の削減

(1) 環境に関する苦情件数のゼロ化

重大トラブル0件
軽度トラブル0件

目標達成のために、

- a. 教育訓練の実施
 - ・排水系路図や緊急時対応要領に基づき教育・訓練の実施

目標達成：苦情なし

以上